

昨年7月の航空自衛隊入間基地納涼祭における事実関係について

平成23年3月
防衛省

昨年7月27日（火）航空自衛隊入間基地納涼祭（午後5時から9時まで）に来られた松崎哲久衆議院議員が帰る際のトラブルについて、関係者から聞き取りを行いとりまとめたところ、以下のとおり。

- 議員が帰るため、納涼祭受付付近で、駐車場から出た車両を最短距離で呼ぼうとしたが、交通統制員（隊員）は最短距離では車が一方通行を逆走することとなり、来客との接触の可能性があるので、議員に車両まで歩いて頂きたい旨話したが、議員は従うそぶりなく、車両は議員の指示で一方通行を逆走した。
- 車両が停止すると、議員は交通統制員の腕をつかみ、危なくなかった旨話し、団扇で交通統制員の肩のあたりを数回叩いた。
- 議員が車両に乗り込みドアを閉めたので、交通統制員は二度と来ないよにとの趣旨を独り言で言ったが、車の窓が開いていたため、議員はこれを聞き激昂し、車両から降り、交通統制員の胸をつかむようにして手で強く押したが、すぐ手を離し、受付担当幹部を呼び、基地司令を呼んで欲しい旨話した。
- 受付担当幹部は謝罪し、議員は交通統制員にも謝罪を求め、受付担当幹部も指導したが、交通統制員は謝罪を拒否した。急行した他の隊員も謝罪したが、議員は交通統制員などに繰り返し謝罪を強く要求した。
- 交通統制員は腕をつかまれた旨話したが、議員は手を出していない旨繰り返し話した。
- 周囲には来場者が沢山集まり、遠巻きに見ていたが、現場にいた隊員全員で謝罪を継続し、議員も矛先を納め、帰路についた。